



ゆざわ けい
湯澤 慧

リフォーム会社 勤務
スクールバス臨時運転士

18

-中・西部-

応募のきっかけは？

自転車フレームデザイン技術を学んでいた専門学校在学中に、課外授業として、阿東地域で取り組んでいる竹を使った自転車の制作イベントに参加しました。その後、地元の方から声がかかり、インターンシップとして地域に1週間滞在。阿東の竹自転車のプロジェクトに継続して関わることで、地域に貢献したいと思うようになりました。

地域の方と交流する一方で、市役所の担当の方へもアピールし、「自転車と地域資源を活用した地域活性化」をミッションとする「協力隊枠」を準備していただき、応募しました。

隊員時代：イベント会場



着任してみて、想像と違っていたことはありましたか？

阿東に竹フレームの自転車制作技術を持つ方がいらしたにも関わらず、実際は作業環境が整っていませんでした。廃校の理科室の使用や、廃ガソリンスタンドを作業場にする動きがあり、それぞれ作業環境の整備を行いました。いずれも困難を極めました。

隊員時代の思い出を教えてください

阿東には自転車屋が1軒しか残っていないため、自転車の専門家として地域の役に立つことを考えました。サイクリングツアーの主催や、学校の一輪車の整備をしたことがきっかけとなり、子どもたちに一輪車の乗り方を教えることもありました。これらの経験から、「将来も地域の役に立つことしよう」と考えるようになりました。そして、阿東に住み続けるためには技術を身につけようと、当時、担い手が不足していた生活バス路線の運転手になるため、大型2種の免許を取得しました。

大変だったことは？

作業場が確保できず、自転車の制作が進まないために焦った時期もありました。モチベーションが下がった時は、ゆっくりと休息を取り、楽しく活動できる時は集中して取り組みました。やりたいか、やりたくないかを含め、はっきりと自分の意志を伝えるように努めました。遠慮していたら何もできません。卒業後にどうするかは自分の問題です。

現在、そしてこれからについて

卒業後の1年間はスクールバスや生活バスの運転手としてハンドルを握り続けながら、電気工事士や自転車整備士の資格を取得しました。現在は電気工事士をしながら、どこかで購入された自転車を修理しています。お隣さんと付き合い、癒されながら楽しむというスタイルを大切にしたいですね。そして、自分の技術でできることを手伝い、自転車屋を軌道に乗せたいと思っています。

協力隊を目指す人や後輩に伝えたいこと

コミュニケーションを積極的にとり、本当にやりたいことを考えてください。自分の人生をどうしたいかを考え、やりたいことをやる3年間にしてください。楽しんでいればどうにかります。



▲子ども用
バンブーバイク

ゆざわ けい
湯澤 慧さん

▶ 協力隊として

| 着任地 | 山口市
| 活動期間 | 2018年5月～2021年4月
| 活動内容 | 自転車と地域資源を活用した地域活性化

▶ 現在の仕事

リフォーム会社 勤務
スクールバス臨時運転士



自転車制作



湯澤さんのあゆみ

2017. ○ 阿東地域との交流開始

2018.05 ○ 協力隊着任

2019.11 ○ 萩ジオパークサイクリングツアー開催

2021.05 ○ 協力隊卒業

2022.04 ○ 就職